

よえもん

2015年9月 第29号

シリーズ
よえもん

孝の教え

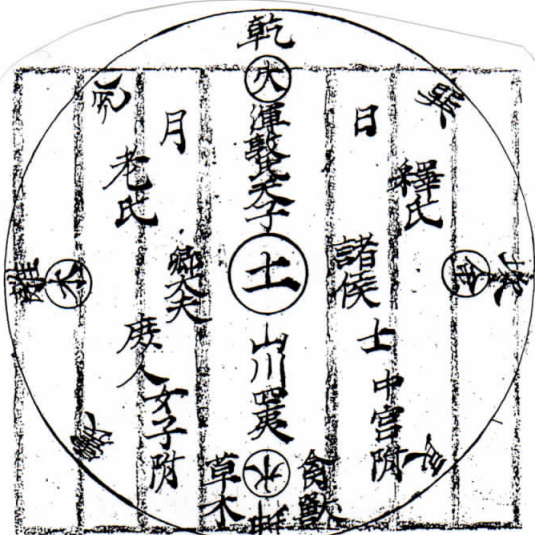


藤樹先生は、「孝」は人が人間らしく生きていく上で、いつの世でも変わらない根本であると考え、「孝の心」を一番大切にしました。藤樹先生自身も、お母さんに対する真心をつらぬくなど、孝心が深かったのです。

「自分の心や体は、父母から受けたものであり、父母の心や体は祖先から受けたものである。さらにそれは、天から受けたものである。だから祖先を尊び、天を敬うのも、自分の心を正しくし、体を健やかにし、行いを良くすることも、孝行である。」と教えています。

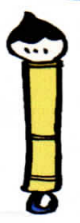
友だちと仲良くしたり、勉強にはげむことも孝行だといふのです。そして身をもって行ったのです。

藤樹先生が毎朝門人たちと読んだ「孝経」は、孔子の教えを弟子がまとめた本ですが、先生直筆の「孝経」は記念館で展示しています。



全孝図

今月のことば



求むれば
願ひのままに
月雪も花も紅葉も
玉もくしきも

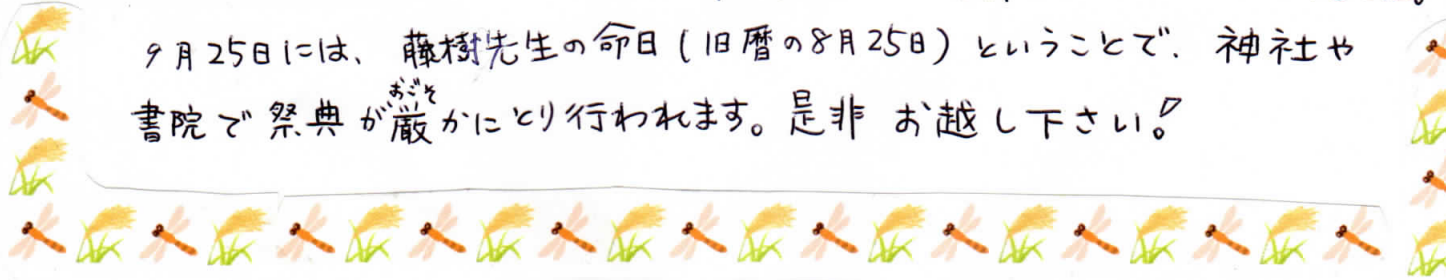
書・洲田瑞穂さん
出典・中江藤樹の和歌

この歌は、藤樹が門人の戸田孫助(大洲藩)との送別の時に送った長文の中にある六首の和歌の内一首です。全文をお読みいただかないとご理解いただけないかも知れませんが、大意は、「万物は皆自分に備わっているのだから、名利(名誉と私利)を求めれば、手に入れることは可能である。そこで、名利を道徳におきかえて、つねに自分の心を反省し、人に対していつも誠をつくすという生き方をしてほしいのだ。きっと名利とは違う本当の喜びがわかるだろう。そして、それを真の志にしてほしい。」ということです。ひとには、いつも思いやりをもって接しましょう。

記念館さんぽ

藤樹神社の参道に石畳がしかれ、駐車場より車いすの方がご参拝していただきやすくなりました。

9月25日には、藤樹先生の命日(旧暦の8月25日)ということで、神社や書院で祭典が厳かにとり行われます。是非お越し下さい!



近江聖人中江藤樹記念館

高島市安曇川町上小川69 TEL:FAX (0740)-32-0330

